

研究課題名	胃癌に対するロボット支援下手術の有用性に関する後向き観察研究
研究機関名	武蔵野赤十字病院 外科
研究責任者	所属 外科 氏名 井ノ口幹人
研究期間	令和 2 年 8 月 ～ 令和 4 年 3 月
研究の意義・目的	胃癌は罹患、死亡ともに上位を占めている疾患である。胃癌に対するロボット手術は海外ではすでに普及している。日本では多施設共同の第Ⅱ相試験が行われ、重度の合併症が少ないという結論が出され、2018年4月から保険適応となった。ロボット手術の手技についてはまだ定型化されておらず、各施設で様々な工夫を行っている。当院では2019年8月よりロボット支援手術を開始して17例を経験した。当科の手技の有用性を明らかにするためロボット支援下手術の短期的・中期的成績を後ろ向きに検討する。
研究の方法 (対象期間含む)	武蔵野赤十字病院単独・後向き観察研究（症例対照研究ではない）。2019年8月1日から当院で初発胃癌に対するロボット支援下胃切除術を受けた患者。
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む) ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	①ロボット支援下手術の短期成績を明らかにする ②患者基本情報（年齢、性別、身長、体重、併存疾患）、手術記録、術後の経過記録、病理組織検査の結果（深達度、リンパ節転移、ステージ）、予後情報（生存確認日、再発確認日） ③研究責任者のみ ④井ノ口幹人
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 外科 氏名 井ノ口幹人 TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525